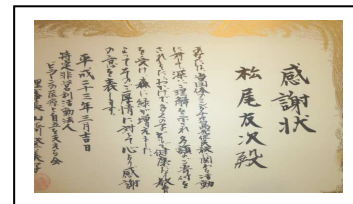


<社員総会のご案内>

2010年度を振り返り、2011年度の活動を審議いただく社員総会を5月22日(日)13:30-16:00当会駅前事務所で開催いたします。社員会員以外のオブザーバー参加も歓迎です。(詳細、別紙参照)

<松尾友次氏へ感謝状贈呈>

福岡県在住の松尾氏から、現地で長く役立つものに使って下さいと多額のご寄付をいただいたのは2005年4月でした。仲介いただいた当会監事山口氏の助言を受けながら、現地のニーズに応じて、約6年間、校舎、水道、織の家建設その他多数の事業を「松尾基金」の名前で実施させていただきました。この度「松尾基金」最後の事業、モロの医療チームPIHSスタッフハウス建設が決まりましたので、会として心からの感謝をお伝えするため、事務所ボランティアのご協力で手書きの感謝状を贈らせていただきました。松尾氏は今もご自宅で療養中と伺っております。一日も早いご快癒とご健康をお祈り申し上げます。(山崎)



<イベント参加報告>

3/12-13、かながわ県民センターで開催予定だった「市民活動フェア 2011」は地震で中止となりました。臨時に参加を決めた3/27の県立四季の森公園のフリーマーケットでは新年度給食資金用に会員・市民の寄付物品を販売させていただきました。

<お知らせ>

- <参加イベント> 5月29日(日) 10:00-14:30 カトリック茅ヶ崎教会バザー(JR茅ヶ崎駅5分、市立図書館向かい)
- 6月9-12日(木-日) 10:30-17:00 手仕事フェスタIV (詳細はP5をご覧ください)
- <総会> 5月22日(日) 13:30-16:00 場所:当会駅前事務所 (詳細は別紙の社員総会案内)
- <例会> 第3木曜 5/19,6/16,7/21 13:30~ 場所:当会駅前事務所(青葉台北口4分、別添地図参照)
- <活動報告会> 4月30日(土)13:30~16:00 場所:当会駅前事務所(同上) 予約不要、どなたでも参加できます。
*ティナラク織とナバルタビ織のお話 *PC映像による3月現地訪問報告(写真・動画)
- <現地訪問> 5月29日(日)-6月5日(日) HANDS 団体会員 ICECK メンバー 7名、山崎
主なスケジュール:ICECK支援のナブル小学校開校式参加、レイクセブ町 COWHED 訪問他

<感謝>

*ご寄附ありがとうございました('11.1.25 ~ '11.4.25)

社員会員、定期支援賛助会員の皆様には、会費に加えて各種ご寄附をいただきありがとうございました。ここでは随時ご協力の賛助会員・一般市民のご寄附についてお名前を記載させていただきます。(敬称略)
鶴田昭彦、鈴木まり、水野真美、為川美穂、小田孝子、森永敦子、関行宏、横浜奈良郵便局ご利用の皆様
(なお、メールでお願いしたCMIPヘルス担当ジョジョさんの夫の緊急手術カンパは12名にご協力いただきました)

<事務局日誌より>

2/8 フリビーン関係NGO役員・職員研修参加(小林) 2/14 ホームページお知らせ欄更新(高山・他 3/4, 3/20, 4/14付で更新)
2/17 月例会(10名参加。ホームページメニュー検討他) 3/17 月例会(7名参加、月末フリマ準備他) 3/18-31 現地訪問(九島)
4/4 現地報告、手仕事フェスタ打ち合わせ(九島・前田・鈴木・水野・山崎) 4/10 会計監査書類山口監事に送付 4/12 新ソフトによる会計入力勉強会(水野・山崎) 4/21 月例会(8名参加。活動報告会準備) 4/18-25 会報65号編集作業(相田・山本・九島・鈴木・水野・山崎) 4/22 青葉区区民活動支援センター登録更新手続(水野)

<会員情報>

('11.1.25 ~ '11.4.25)

(敬称略)

<社員会員> 香月(賛助会員から変更) <賛助会員/定期支援> 津田、斎藤、八島、久保田(以上、神奈川県)

* 会員名簿整備中につき、今回は新入会員ご紹介のみで、会員数の報告は省略させていただきます。

<会員募集>

<編集後記>

医療や自立事業支援会費:	月額 1,000 円 (年 12,000 円)
教育全体支援会費 (又は小学生奨学金・給食支援):	月額 500 円 (年 6,000 円)
ハイスクール生徒奨学金支援会費:	月額 1,500 円 (年 18,000 円)
カレッジ学生の奨学金支援会費:	月額 3,000 円 (年 36,000 円)
あしなが奨学金 (ブラクール出身カレッジ学生支援):	月額 2,500 円 (年 30,000 円)

(支援会費に加えて運営を支える社員会費月 500 円をご負担いただく社員会員も募集)

新緑の季節を迎えて、がれきの中でも草木が芽吹き、花開きました。命を奪う自然は、同時に命を育みます。そんな自然と日々対峙しているミンダナオの報告をお届けします。(山崎)